

2017年05月26日

課題名： 肝硬変症例に対する腹腔鏡下肝切除術の安全性・有用性の検討；

◆研究の目的と概要◆

本研究は、肝硬変を患い、肝切除術を受けられる方に対して、今後のよりよい診療を行うため、腹腔鏡下肝切除術の安全性・有用性の検討をすることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010年1月から2017年4月までの間に、肝切除術を受けた方方で病理検査で肝硬変が確認された方

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長・体重、これまでの治療経過、各種検査の結果、血液、病理組織結果、術式、手術時間、出血量、術後入院日数、合併症などの手術成績

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
 - * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
外科 研究責任者 橋田 和樹

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明